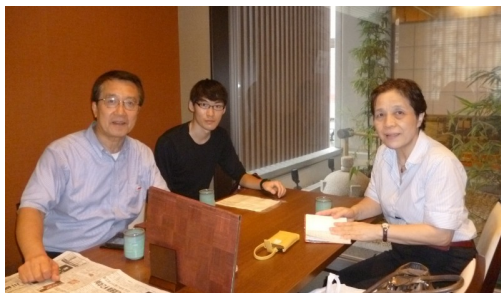


宮城県石巻市・震災復興学習支援 レポートNo.52

石巻 出前寺子屋「検定合格講座」

◆活動報告その52 [2013年9月15日]

台風18号接近の報を背に、午前8時2分上野発の東北新幹線はやて103号に乗り込む。関東平野を北上する新幹線を、台風の前ぶれの雨足が追いかけて来るが、福島あたりで途絶えた。曇り空の仙台で東北大の米澤さんと合流し、高速バスで三陸道に入る。行程60km、奥松島を抜けると



石巻駅前「大もり屋」さんで昼食兼打合せ中

眼下に石巻の田園地帯が広がる。一被災地に 稲田の金波 三年目ー津波被害から3年目の収穫期を迎え、この地にも潤沢な実りが復活している。一方、石巻市の復興住宅の建築予定数は約4000戸、このうち着工数が149戸、完成戸数はわずか40戸という。福島原発事故と云い復興住宅と云い、人間の復興力は自然のそれに比べはなはだ劣っている。黄金色の稲田はそんなことを語っているようだ。

52回目の出前寺子屋スクーリングの出席者は、漢検学習組16名、英検学習組11名の皆さん。一方支援グループは我々谷村2名と米澤さん、それに石巻で書道塾を営む佐久間さん。前回と同じ顔ぶれ、経験豊富なメンバーで開校準備にも滞りがない。

2時30分からの全体集会では、ほっと一息企画として秋の味覚を堪能していただいた。これは昨年同時期に実施し好評であったもので、千葉県名産の超大型の梨「かおり」をプレゼントしようというもの。



「かおり」と「エコバッグ」を手に入れたAさん

まず皆さんにこの大型の梨を味わっていただく。そして取り皿の裏に書かれた番号を抽選し、千葉から持ち込んだ幼児の頭大の「かおり」を贈呈した。またこのところ好評で毎回持参している、カラフルなスポーツ新聞紙を使ったエコバッグを進呈した。東北楽天イーグルスのマー君の活躍で、スポーツ紙エコバッグのネタは尽きない。さすがにイーグルスの地元とあって、マー君バッグは大歓迎である。 報告：谷村志厚

被災者が取り組む「たかが検定試験、されど検定試験」

の高揚と効用

午後2時、左肩から背中にかけてTシャツをぐっしり濡らしてK君が入って来た。開成仮設団地に住む中学2年生の彼は徒歩で会場に来て、「台風で傘が役に立ちませんでした」と言いながら席に着いた。バッグからタオルを取り出し、肩をふき、バッグもふいて、「宿題プリントはぬれませんでした」と言って私(谷村和枝)にそれをさし出した。周囲の受講者の様子を見て、英検・漢検の過去問題を真剣に解いている人が何人もいるのを確認すると、K君も2013年度第1回の英検過去問題を解き始めた。濡れたTシャツを、もはや気にかけてはいなかった。

強い雨が降る中、K君も入れて9人の英検受験予定者が開成拠点センターの会場に来て、過去問題に取り組んだ。そのうち7人の方が各級の合格ラインをクリアした。

準2級では中学2年生のM君が60/75点(合格ラインは44/75点)の驚異の高得点をマークした。同じ中学2年生では、4級の問題を解いた上記のK君が60/65点(合格ラインは38/65点)、Sさんも4級で59/65点と、高得点をたたき出した。中学1年生のE君は5級で35/50点(合格ラインは29/50点)を出してクリア、中学3年生のYさんも3級テストで47/65点(合格ラインは40/65点)で合格ラインを越えた。検定3級合格は県立高校入学試験に効用があることを中学生は自覚し、それを踏まえての努力でもある。

中学生の健闘に触発された2人の成人、還暦を越えて英語の学習を再開したCさんとAさんも3級の問題を解いた。それぞれ、41/65点と44/65点とライン越えをすると、「ワー、すべり込んだ」と歓声をあげた。主婦の日常では味わいにくい種類の高揚感がにじみ出ていた。そして、「リスニングが課題」と自己分析もされた。一方、4~5点が不足して合格ラインに届かなかった3級受験の中学3年生のAさんと準2級受験の高校1年生のSさんの2人は、「試験まで4週間近くある。大丈夫、

石巻 出前寺子屋 「検定合格講座」の仕組み

- 活動期間：第Ⅰ期 2011年8月16日～2012年2月4日
 第Ⅱ期 2012年2月19日～6月17日
 第Ⅲ期 2012年6月16日～11月10日
 第Ⅳ期 2012年11月24日～2013年2月23日
 第Ⅴ期 2013年3月10日～6月8日
 第Ⅵ期 2013年6月16日～11月9日

- ①スクーリングの実績と予定(漢検・英検学習)
 2011年8月16日、9月4日、18日、10月2日、16日、11月5日、20日、12月11日、24日、2012年1月8日、22日、2月4日、19日、3月4日、18日、4月1日、15日、29日、5月13日、27日、6月2日、9日、17日、7月1日、22日、8月5日、26日、9月9日、23日、10月7日、13日、21日、11月10日、25日、12月9日、23日、2013年1月13日、26日、2月9日、24日、3月10日、24日、4月7日、21日、5月12日、6月1日、16日、7月7日、21日、8月12日、9月1日、15日、10月12日、10月27日
- ②会場 仮設開成ささえあい拠点センター集会所
- ③検定受験(第Ⅵ期)
 平成25年度第2回英検 2013年10月12日
 平成25年度第2回漢検 2013年11月9日
- ④受講対象者 仮設住宅、借上げ住宅等に居住する被災市民
- ⑤受講者特典 教材費・スクーリング受講費・検定料の全額が無料

間に合う」とラストスパートをかける決意を語ってくれた。

さて、9月11日付の読売新聞は石巻市で復興住宅の建設が大幅に遅れていると報道した。5人家族で1つの仮設に暮らすK君は、「仮設は狭すぎます」とかつて私に語った。今も同じ仮設に住む。出前寺子屋の受講者の間では、復興住宅への入居は



出前寺子屋第1回から参加されているOさんご夫妻は、10月の漢検で準1級と4級に挑戦する。

話題にも上っていない。2年半が過ぎても、皆は被災者のままだ。

その被災者が、学生だけでなく還暦過ぎの成人までもが、検定合格という成果に近づこうとしている。私は生き生きとしている姿に触れて、「たかが検定試験、されど検定試験」の想いを新たにしたい。その検定試験、2013年第2回英語検定が次回、10月12日の出前寺子屋で開催される。当日、天候が良いことを祈りたい。

報告：谷村和枝

過去5の漢字検定実績・74名受験中合格者59名
 2級-13名、準2級-14名、3級-14名、4級-6名、5級-7名、
 6級-3名、7級-2名 (小中学生21名、一般38名)

英語検定実績・13名受験中合格者12名
 準2級-1名、3級-4名(準2・3級とも1.2次完全合格者)
 4級-4名、5級-3名 (小中高生9名、一般3名)

ご支援ありがとうございます

当活動は活動参加者個人の負担と、ご援助をいただく皆さんの浄財で運営しています。第Ⅲ期活動からは日本キリスト教協議会・震災対策室および東北ヘルプ(第Ⅱ期から継続)から活動資金支援をいただいています。

主管: AIM学習セミナー(私塾ネット会員・松戸市)
 後援: 全日本私塾教育ネットワーク(略称・私塾ネット)
 支援: 日本キリスト教協議会・震災対策室(JEDRO)